

東久留米稲門会「新ホームページ」スタート！

まずは「東久留米稲門会」で検索！！

お待たせいたしました。東久留米稲門会のホームページを公開いたしました。「東久留米稲門会」で検索してください。「早稲田大学校友会 東久留米稲門会」という文字が見えたら、それが、私たちの新しいホームページです。

URLは、 higashikurume-toumonkai.com どこのプロバイダにも間借りしていない、正真正銘の私たち独自のドットコム・ドメインです。

今後は、このホームページを活用して、スピーディに、カラフルに情報を発信していきます。

下記が、新ホームページのトップページのイメージです。

早稲田大学校友会

東久留米稲門会



当面、更新については、役員と各部会の担当者に限るとすることにいたします。部会の担当者となりましたのは、「俺(私)は、パソコンなんか、一切やらないぞ！」という方もいらっしゃるかと思います、そのような部会が、「お知らせ」や「活動報告」が一切できないという事態を避けるためです。必ず、どなたか、ホームページ担当を決めてください。

一般会員の方が、何らかの告知を行いたいという場合は、お手数をおかけいたしますが、事務局長まで、メールでご相談ください。掲載可能な内容かどうかを、判断して、掲載いたします。当然、掲載基準としては、東久留米稲門会の規約を遵守することとしますので、「政治」「宗教」「営業」はご法度です。

また、すべての更新内容に関して、役員において、不適切と判断したものについては、ご本人や担当者に確認することなく、ご同意がないまま削除いたしますので、ご了承ください。

まずは、新・ホームページをご覧ください。

ホームページ立ち上げ担当 村上万里

会の告知板

【部会予定】

11月11日(水)	ゴルフ部会(三田会定期戦)	熊谷ゴルフクラブ
11月21日(土)～22日(日)	囲碁部合宿(秩父小鹿野町 越後屋旅館)	
11月21日(土)～23日(祝)	書道部作品展	10:00 成美教育文化会館
11月23日(祝)	ラグビー観戦部会「対慶応戦」	14:00 秩父宮ラグビー場
11月25日(水)	第51回ウォーキング部会	08:20 東久留米駅改札口
11月26日(木)	映画鑑賞会『黒いオルフェ』	14:00 成美教育文化会館
11月29日(日)	散策山歩き部会「八国山(所沢)～多摩湖」	09:15 東久留米駅改札口
12月6日(日)	ラグビー観戦部会「対明治戦」	14:00 秩父宮ラグビー場
12月9日(水)	女性サークル「ランチ会」	11:30 鮮乃庄
12月13日(日)	第3回役員会	16:00 生涯学習センター
12月13日(日)	歴代会長役員部会長忘年会	18:00 磯久ダイニング
12月26日(土)	カラオケを楽しむ会	19:20 オンチッチ
～2016年～		
1月9日(土)	東稲ニュースNo.86印刷	16:00 生涯学習センター
1月24日(日)	東久留米稲門会「新年会」	16:00 成美教育文化会館
2月11日(祝)	諸芸術鑑賞部会 早稲田大学交響楽団ニューイヤーコンサート	15:00 練馬文化センター

<各部会定例活動一覧>

部 会	11 月				12 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	18	水	10:00～	中央町地区センター	9	水	11:30～	鮮乃庄(ランチ会)
囲 碁	21(土)～22(日) 合宿			秩父・越後屋旅館	27	日	13:00～	成美教育文化会館
俳 句	15	日	13:00～	中央町地区センター	20	日	13:00～	生涯学習センター
書 道	8	日	13:00～	西部地域センター	13	日	13:00～	西部地域センター
太極拳	7	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	5	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	14	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	12	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	21	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	19	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	28	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	—	—	—	—

【大学・校友会関係】

11月15日(日)	校友会三多摩支部大会	15:00 府中の森芸術劇場
11月21日(土)	安部磯雄先生生誕150年記念式典／全早慶戦	10:00 東伏見キャンパス
11月22日(日)	清瀬稲門会総会	14:00 清瀬アミューホール
12月5日(土)	商議員会	14:00 大隈講堂

会の報告

◎7月4日(土) 早稲田大学商議員会

安次峰会長、菱山会員出席

来年度商議員の改選。現状の1,000名から80名程度増加とのこと。

◎8月30日(日) 東京三多摩支部会長会

安次峰会長、高橋事務局長出席

◎役員会報告 平成27年度第3回役員会が10月4日(日)16:00～生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

(1)8月23日(土)三多摩支部会長会 ブロック・グループ制の見直しについて本年度決定。総会へ動員依頼。

(2)9月26日(土)幹事長・事務局長会 平成16年度評議員、代議員改選。当会は、各1名減少。

(3)9月26日(土)代議員会(別処、高橋、小山田出席) 総長より、卒業生13,503名、入学生13,100名で在校生約400名減少、世界の大学100位以内を目ざす。野球部、水泳部、ラグビー部OBの活躍、代表幹事より、記念会堂、新築150億円のうち20億円寄付を

(4)10月17日(土) 小平稲門会総会(安次峰、河村)

(5)11月8日(日) 東村山稲門会総会(高橋、小山田) ⇒ (高橋、別処に変更)

(6)11月15日(土) 東京三多摩支部総会(安次峰、高橋、吉川) ⇒ (小山田も参加)

(7)11月22日(日) 清瀬稲門会総会(渡辺、別処) ⇒ (渡辺、小山田に変更)

2. 講演会・秋の旨いもの会—渡辺実行委員長より、役割分担、食材の手当と確認

3. 会長・部会長・役員忘年会の日時—12月13日(日)忘年会は18時より

4. 新年会—平成28年1月24日16時より

5. 平成28年度定期総会について—平成28年4月17日(日)14時より講演者は、小野幹事が交渉

6. 会計処理規則について—東海監事より改正の趣旨、交通費及び部会補助金交付の要件等を説明、監事の業務について(規約を検討)

7. 会員募集について—実行委員会は執行部他で本日は時間の関係で会議できず、新年会は会費有料で50代、60代の校友に声をかける。

8. 広報関係 ホームページの進捗状況—ほぼ完了、村上幹事にルールを確認の上立上げ

9. その他 次回役員会12月13日(日)16時より生涯学習センター

◎講演会・秋の旨いもの会

<講演会>「2020年東京五輪のビジョンづくり」(要約)

オリンピックの開催都市は、どのような五輪を開くのか、内外にその理念、ビジョンを簡潔なひとことに込めて公表するのが恒例です。しかし、JOC(日本オリンピック委員会)は招致活動を開始してから8年、ずっとビジョンづくりで迷走を続け、しびれを切らしたIOC(国際オリンピック委員会)からその創出を催促されるほどでした。

日本人は、世界でもまれな、きわめてすぐれた特性をもつ半面、かなり面倒な一面を抱えていることも否定できません。視野が狭い。大局観が欠如している。こうした“負の特性”が2020年五輪の東京招致で露呈しました。

「天は二物を与えず」で、なにもかも優れている民族など存在しません。美点があれば、必ず裏に弱点が潜む。当然の話です。問題はそうした自己の欠点、短所を十分に認識しているかどうか。真正面からそれらに向き合う勇気があるかどうか。そこから対応策も生まれるはずです。

フリージャーナリスト 國米家己三(当会会員31年政経)

<秋の旨いもの会>

今回の旨いもの会は会員有志が取り寄せた各地の「旨いもの」と女性会員・会員夫人によるおにぎりや豚汁という従来とは異なった献立となりました。村上幹事の司会のもと、安次峰会長の開会挨拶の後、帆角三代会長の乾杯発声でスタート。司会から各地の旨いものの紹介と寄贈酒等のお礼があり、藍原さ



國米会員を講師に迎えて



旨いもの会 安次峰会長ご挨拶

んのラグビー、オクスフォード招待の報告、講演者の國米会員のお話も出ました。そして招待者の大矢崇弘さん、橋村深生子さんの自己紹介が続き、それぞれのお父さんから急遽予定外の挨拶も追加されて、懇談の場はますます盛り上がっていきました、楽しい時間はあっという間に過ぎて、平山五代会長の中締めとなり、恒例の大矢幹事のリードと大島さんのハーモニカ伴奏で校歌斉唱で散会となりました。 別処尚志記

部会報告

《太極拳の集い

十四周年記念集会・懇親会》

平成13年9月に東久留米稲門会で産声を上げた「太極拳部会」が今年で満14年を迎え、15年目へと発展しています。

14周年を記念し、10月3日（土）に成美教育文化会館で記念集会と懇親会を開催し

ました。懇親会には安次峰会長も出席され、総勢19名で和気藹藹と楽しい一日を過ごしました。

発足以来、14年が経過し、この間紆余曲折がありましたが、会員皆様の暖かくまた力強いご支援に支えられ、15年目を迎えることは大変光栄なことと感謝しています。当初から有資格の師範・指導員もなく文字どおり「無資格・無免許運転」で活動して来ましたが、DVDやY o u t u b eの動画や参考図書、更には個人的に太極拳教室に通って技術を磨き、会員の皆様と楽しく太極拳を演武しています。

発足当初は『楊名時の健康太極拳』だけを稽古していましたが、最近では『簡化24式太極拳』も稽古のメニューに取り入れ、太極拳を楽しんでいます。名簿上では30名を超える会員が登録されていますが、残念なことに稲門会会員が半数に満たないことです。興味のある方は土曜日の午前中、成美教育文化会館に足を運んでみてください。初心者大歓迎です。 鮎貝盛和記



集合写真+懇親会参加者

＜ゴルフ部会＞

10月2日（金）美里GCで稲門ゴルフ会を開催。参加者は、十数年ぶりの参加の大工原光男さん（49年卒）を含め12名と、まとまった人数となりました。42年卒の村野さんが復調なってグロス93、ネット73で優勝、2位上原さん、3位上條さんでした。

爆弾低気圧が本州北部/北海道を通過した影響で、当日は明け方までは強風・強雨の荒れた天候でしたが、6時頃には予報通り雨・風ともびたりと止まり、ゴルフ場に着いた頃には、晴れ間がのぞくほどに天気は急回復。雨の場合はゴルフは取りやめる、という慣行？になっているだけに、天気は幹事泣かせです。美里GCでの開催は初めてでしたが、参加者からは概ね良いコースで、次もここでという希望も出ました。尚、11月11日の第24回東久留米三田会との対抗戦方式のゴルフ会には、稲門諸兄は今までで最も多い16名の参加見込みで、対三田会4連勝を目指します。 伊東 毅記

＜ウォーキング部会＞ 第50回記念大会 早稲田大学キャンパスツアー

第50回目のウォーキングを記念して早稲田大学キャンパスツアーが10月6日（火）に実施された。男性18人、女性3人計21人は理工学術院（旧理工学部と大学院）専用の西早稲田キャンパス西門前に集合した。63号館の一室でキャンパスの概要の説明を受けたあと、2つのグループに別れて、現役の学生に

案内されてキャンパス内を見学した。

7万5000㎡の敷地に15棟の校舎がゆったりと配置されていた。工学、理学の実験室、図書館等、数多の技術者、科学者を排出してきた揺り籠が、正に近代的な装置となって存在していた。緑も多く、自然に気持ちや和んだ。“いい環境だなあ”と隔世感を味わいながらキャンパスを歩いていたら、正面入口に出た。やはり門はなかった。“伝統は生きている”と変に納得した。キャンパス敷地の下には副都心線の西早稲田駅があり、直接キャンパスに到達できた。“便利になったなあ”と思いつつ学習院女子大学の脇を通過、文学部のある戸山キャンパスを訪れた。

思い出深い記念講堂は取り壊し中だった。さらに歩いて大隈講堂前に出た。午後1時頃だった。大隈講堂の隣にある学生食堂で学生と一緒に昼食をとった。講義が始まったらしく、学生は意外と少なかった。2時に再び集まって、早稲田キャンパスを見て回った。今度も案内役は現役の学生だった。昔と違って、行き交う学生は皆、身綺麗だった。女子学生数は往年と比べて、圧倒的に多かった。外国人と思しき学生も多数、闊歩していた。演劇博物館では坪内逍遙先生の銅像と握手した。ここは早稲田大学の隠れたパワースポットなんだそうだ。

安部球場跡地には中央図書館と井深記念講堂が建っていた。敷地の一角には日本学生野球の発展に多大の貢献をした安部磯雄先生と飛田穂州翁の銅像が遺徳を偲ぶ形で建てられていた。

最後に大隈講堂に立ち寄った。正面の壁には創立125周年記念の際の寄付者名が刻まれた銘板が設置されていた。東久留米稲門会の会員の名も多数あるはずだ。脇の廊下には大礼服姿の大隈侯の像が、見る人を圧するかのごとく、立っていた。大隈侯の身長は183cmだそうだ。今でも大きい、明治時代では巨人だ。講演者が控える部屋は貴賓室と呼ばれているが、金ぴかな装飾は一切なく、実に質素だった。舞台に立って講堂内の雰囲気を感じたあと外に出た。ここで早稲田キャンパスツアーは終わった。

有志が自然と集まって、慣れ親しんだ高田馬場駅に出た。そして居酒屋で一杯(?)やって、学生時代の気分を大いに味わった。

帆角信美記



銅像と大隈講堂の見える場所で・・・

<旅行同好会>

第8回東久留米稲門会旅行同好会 「紅葉と温泉の越後魚沼バスの旅」 ～豪雪地の歴史と文化と人に触れ食と地酒と自然を満喫の旅～

旅行同好会員17名は、10月22日(木)朝7時30分に東久留米市役所前を、越後の魚沼をめざして出発しました。運転手さんの気配りよろしく1時間ごとにICに入り、11時頃には南魚沼市の「八海醸造」の施設「魚沼の里」でコスモス畑と巨大な雪室見学の後、美味しいお酒を何種類も飲んで堪能していました。女性は早速、塩麴食品や地場産野菜をお買い求めです。昼食は鄙にはまれでモダンな「八海山泉ヴィレッジ」で舞茸ピザなど美味しいイタリアンをいただき、地ビール、ワインを飲んで一同大満足でした。特にこのヴィレッジの中の天井がとてもお洒落な感じで、皆感心していました。すべて地場産の杉を使っているそうですが、よくもまああんなに丸く杉材を曲げられたものです。

一行は秋の越後の紅葉を愛でつつ一路「ホテルグリーンプラザ上越」へと向かいました。今回の旅行の案内をして下さったのは東久留米稲門会の会員、長束輝夫(50年政経)氏です。長束会員は某銀行に勤務しておられましたが、10年ほど前に「ホテルグリーンプラザ上越」運営会社に転職され現在は重役をしておられます。社長及び重役・従業員の努力の甲斐あって7年前から黒字に転じたそうです。建物は

英チューダー王朝文様を活かしたスイス風の外観が素晴らしく、いかにもスキー専用のホテルといった感じです。夕食時には個室で長束会員の特別の計らいで普段は飲めない久保田万寿、八海山の大吟醸、鶴齢純米大吟醸など各種の新潟の銘酒と和食フルコースを味わうことができました。食後、各自、天然温泉やカラオケを楽しみました。

翌朝は温泉で朝風呂を楽しんだ後、6時30分にホテルを出発。小型バス2台に分乗し、田圃や林間の細い道を通じてゲレンデ高台に向かい、そこから魚沼の里やホテルを一望しました。帰って朝食。ホテルを8時30分に出発し、上杉家ゆかりの禅寺に行きます。臨済宗の福聚山「龍澤寺」です。山城跡に隣接し、上杉謙信から軍事的に要衝の地として朱印状を受け手厚い保護を受けていたことなど住職から説明を受けました。次に、四季折々の実際に咲いている山野草と、その水彩画とを展示する「野の花館」で珍しい草花や優しく温かいタッチの水彩画を楽しみ、癒し系の外山画伯と奥様から茶菓のおもてなしを受けながら暫し談笑に耽りました。



宿泊のホテル・グリーン・プラザ上越の玄関



朝食前にここまで来ました

車は進み南魚沼市塩沢の「牧之通り」(旧三国街道)へと入ります。まず創業 298 年目の「青木酒造」を訪ね私邸お座敷で社長のご祖母・お母様・奥様の美女三代のおもてなしで銘酒鶴齢を試飲。その後、古くからの商家、中島商店を訪ねます。入り口にダブルの背広を着た紳士が、にこやかに我々一行を迎えて下さいました。この方こそ南魚沼稲門会会長さん(昭和 19 年生まれ)でした。旧三国街道は昔からの狭い道だったのですが、これを現在の広い牧之通りにするためには、各店々が前面を削らなければならず大反対のようだったのですが、会長が声を大にして将来の街の発展のために強行し現在の豊かな観光名所になったようです。奥様から越後上布で作った織物や秋篠宮ご夫妻来訪時の話など伺いました。

昼食は一旦、南魚沼市から十日町市の「由屋」へ向かい、布海苔をつなぎに使った新潟名物へぎそばに舌鼓を打ちました。

皆の願いが通じたのか晴天になったので南魚沼市に戻り霊峰「八海山」をめざしました。高速ロープウェイに乗ってブナや楓など錦秋の紅葉林を眼下に見ながら標高差 800 m を一気に登ります。終点の八海山 4 合目に到着。そこから 2 km 級の山並みや魚沼盆地を眺望しました。なぜ魚沼の米は日本一旨いのか、その理由は山々に囲まれた盆地なので夜は冷たく昼は暑く、その寒暖の差が激しいことと、豪雪の雪解け水の故に米が非常に美味しくなるのだそうです。

食の買い物も沢山でき、酒よし、ホテルよし、景色よし、天気よし、人情よしのよしの旅でした。

酒井正敬記

＜野球早慶戦観戦部会＞ 11月1日(日) 早慶戦観戦記—早稲田2連覇

明治大学の思わぬ敗戦により、訪れた2連覇のチャンス、早稲田の圧倒的優位な条件のもと、11月1日(日)早慶戦第二回戦が行われた。本日も菱山さんの娘さんにお手数をおかけした招待券により、特別内野席に隣接した絶好の席で4人ともゆっくり野球を堪能することができた。

今季の早稲田は、春季と違って打線が不振、その中で2年生エースの復活が頂点をもたらし、優勝回



早稲田優勝！ 早慶戦

数は、単独最多の45となった。大竹は8月に膝を痛めて出遅れ、今季は不調であったが、本日は本来の投球に戻り、4安打で完封をした。得点経過は、4回の敵失、6回の暴投の各1点で打線は沈黙していたが、4年生を中心とした堅守、団結力が勝利をもたらした。

最後に閉会式により、読売ドラフト2位の重信選手の首位打者表彰式まで見届けて、帰路、ラグビー観戦会と合流、勝利の美酒を控えめにした反省会となった。

高橋哲男記

＜俳句部会＞

9月20日(日) 第182回句会 於:生涯学習センター

兼題:「花野」、「こおろぎ」

大原の声聞こゆるは秋	大久保泰司
雲の影ゆっくりよぎる花野かな	三田畔巢
音もなく風の吹き行く花野かな	片平るみ
老夫婦揃いのリュック大花野	松田博雄
野の草に紛れつつ行く秋の蝶	三田畔巢
こおろぎの鳴いて侘しき空家かな	比護喜一郎
奥飛驒の土間の厨 くりや やちろろ鳴く	大久保泰司



部会だより

＜書道部会＞ 作品展告知

来る平成27年11月21日(土)から11月23日(月、祝)まで、成美教育会館1Fギャラリーにて、東久留米稲門会書道部の作品展を開催いたします。私たち書道部が2年に一度、毎月の例会でもまれ、研鑽した作品の数々を皆様にお披露目する会です。勿論この作品展で、来場者から購入したいといわれるような作品を書かれる師範クラスの方から、最近始めた方まで、書道部メンバー14名の力作ばかりです。

今回は書道部を設立した大恩人故高橋勤さんの遺墨も遺族の方から出品していただけることになりました。書に興味のある方は勿論ですが、あまり興味のない方も見に来て下さい、そうすれば全くの素人がここまでの作品が書けるのかと思われるはずです。冠婚葬祭の記帳時にもう少しましな字を書きたいとの邪心をお持ちの方でも結構です、是非作品展を気楽に見に来て下さい。

ご来場を書道部一同心からお待ち申し上げます。

小野泰右記

10月25日(日) 第183回句会 於:中央町地区センター

兼題:「葡萄」、「竜胆」

ひきだしに探すルーペや秋灯	神田尚計
竜胆や峠の茶屋へあと半里	河村洋子
秋冷を斬る黎明のジェット雲	杉本達夫
秋うらら谷中銀座の招き猫	河村洋子
碧く澄む海に溶けこむ濃竜胆	川俣栄一
葡萄食ぶイエスの言葉思ひつつ	河村洋子
ホスピスの窓辺見舞いのマスカット	比護喜一郎
球根を植えて娘の嫁ぎ行く	片平るみ



三点句以上 橘 優治記

<ウォーキング部会> 第51回 紅葉の長瀬を散策(荒川に沿って2億5千年前の海底・岩畳を歩こう)

日時：11月25日(水) 集合：8:20 a.m. 東久留米駅改札口、雨天延期

主な散策先：長瀬 岩畳、埼玉県自然史博物館、虎岩、岩畳の対岸 全行程約8km

参加費：300円、自己負担：交通費(2,664円)、飲食費、博物館入館料(200円)

行程の中では弁当の手当てが難しいので、出発前の手当てをお勧めします。事前申し込みは不要

連絡先：東海俊孝 TEL:042-473-8566 携帯 080 - 1205 - 9494 メール:toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

東海俊孝記

<映画鑑賞会> 『黒いオルフェ』 11月26日(木) 午後2:00～ 於:成美教育文化会館

1959年、フランス映画。今回はちょっと異質な作品を紹介します。

リオのカーニバルの熱狂の中で、田舎から出てきた娘ユーリディスと、市電の運転手オルフェは愛し合う。だが、死神の仮装をした男に殺され、オルフェも後を追って死ぬ。ギリシャ神話の愛の物語を強烈なリズムと色彩感覚の中に蘇らせた名作。

主題歌「オルフェの歌」や「しあわせ」がヒット。ジョン・ルイス・ポンファの音楽がボサノヴァを世界的に知らしめるきっかけとなった。

主演：ブレノ・メロ、マルベッサ・ドーン

監督：マルセル・カミュ

カンヌ映画祭グランプリ、アカデミー外国映画賞、受賞

米光慶二郎記

<ラグビー観戦部会>

◎ラグビー早慶戦 11月23日(満席)

◎ラグビー早明戦 12月6日(一席余りあり)

今年も秋が深まり、本格的なラグビーシーズンに入りました。ワールドカップイングランド大会では、南アを下した世紀の番狂わせや、五郎丸の大活躍が伝えられ、一次リーグ敗退とはいえ、ジャパンラグビーが世界から注目を浴びました。

しかしながら、わが早稲田ラグビーは、今シーズンは史上最悪の状態で、筑波、帝京に敗れ去りました。こんな時こそ、われわれ早稲田サポーターの熱烈な応援が必要と思われまします。迎える早慶戦、早明戦、熱い戦いを期待したいと思います。TVで、秩父宮で、声援を送りましょう。12月6日の早明戦は、あと1枚チケットの余裕があります。希望の方は藍原部会長(Tel042-472-1813)までご連絡を。事務局記



<散策山歩き部会> 八国山～多摩湖(村山貯水池)へのハイキング

今回は近隣の東村山をコースとして企画致しました。海拔は90メートルほどですが、かつては八つの国を見渡すことが出来た「八国山」を始点から終点まで尾根伝いに歩き、その後「多摩湖」を半周するコースです。ご家族の皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

日時：平成27年11月29日(日) ～雨天の場合は中止と致します～

集合：東久留米駅改札口 午前9時15分

徒歩行程：約3時間(昼食含む)

お問い合わせ：川上 471-1327、安次峰 090-4527-3656

安次峰暁記

<カラオケ部会> 「カラオケを楽しむ会」のご案内

恒例の冬の「カラオケを楽しむ会」のご案内です。今年も下記のとおり開催いたします。皆様方それぞれ振り返れば、今年もいろいろなことが脳裏をよぎり、なかにはストレスめいたものがどこかに残っているかも知れません。こんなときには、お腹の底から声を出せば、すっきりすること請け合いです。みんなと一緒に楽しいひとときを過ごしましょう！



-
1. と き 平成 27 年 12 月 26 日 (土) 午護 7 : 20 集合、7 : 30 開始
 2. ところ 『オンチッチ』 市内東本町 1-9 TEL 042-477-7333
 3. か い ひ 4,000 円
 4. ご連絡 高柳康夫 TEL 042-473-3559 携帯 090-8741-8424
E-mail:y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

※ご参加の方は、12 月 25 日 (金) までに、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。

高柳康夫記

<諸芸術鑑賞部会> 「早稲田交響楽団ニューイヤーコンサート 2016」のお知らせ

もう来年の話題も鬼が笑わない季節、早いものです。

早大交響楽団のニューイヤーコンサート 2016 の開催予定について、このほど連絡がありました。

日時：2 月 11 日 (木) 祭日・建国記念日 午後 5 時開演 (午後 4 時開場)

場所：練馬文化センター 主催：練馬稲門会 チケット：指定席 ¥3,500-、自由席 ¥2,000-

詳細は 1 月の東稲ニュースとともにチラシをお配りする予定です。(現在制作中) 例年、当会員からも 20 名前後の方々が参加してくださいませ。ワセオケもなかなかの腕前です。来年もワセオケのワルツやその他のパワフルな、明るい楽しい調べを皆さんとご一緒に楽しみたいと思います。 菱山房子記

特別寄稿 (高橋 勤 二代会長 追悼文)

もののふの魂もて、旅立ちました

國米 家己三

高橋勤さんと私の「公私」にわたる付き合いは、20 年前の東久留米稲門会創立と同時に始まり、亡くなったいまも、なにかと対話がつついています。

「公」は、もちろん東久留米稲門会関係、「私」のほうは酒です。

「公」では、会報「杜の西北」の編集に 10 年たずさわった仲間同士でした。高橋さんは編集会議に欠席したことはなく細部に気を遣ってくれました。稲門会の草創期では、周知のように事務局長として安宅初代会長とコンビを組み、山歩きやゴルフ、囲碁、俳句、書道などの部会を矢継ぎ早に立ち上げました。ただ創部するだけでなく、それらが軌道にのるまでどの部会にも必ず顔を出していました。女性サークルにさえ出席しています。こうした八面六臂の活躍、ある種の高揚感をもった取り組み、その源は母校愛や責任感からといういかたもあるでしょうが、それよりもっと人間くさい見方を私はしたいのです。

一方、「私」のほうの酒は、グループで飲むときもありましたが、二人だけで酌み交わすことが多かった。かなり頻繁に会って、平均すると 2 週間に 1 度くらいのペースではなかったでしょうか。高橋さんは、約束の 5 分前には必ず現れる。また切り上げるべきときにはきちっと切り上げる。少しは羽目はずしても、決して大崩れしない酒でした。それと、どういうわけかお互い相手の内側に踏み込むようなことはなかった。暗黙のうちに 1 線が守られた節度ある、端正な酒でした。

司馬遼太郎さんが、こんなことを書いています。「江戸っ子という精神的類型は、自分自身できまりをつくってそのなかで窮屈そうに生きている人柄のように思えている」。高橋さんも江戸っ子だから、自分のきまりをもっていたようです。それは早稲田に入る前の長期の療養生活が強く影響したのではと推理するのですが、「節制」から「節度」「几帳面」、そして「律儀」へと伸びていったきまり、ルールです。そのルールが体質にまで昇華して他人に気取られることもなかった。江戸っ子の粋、美学というものでしょう。

几帳面な 1 面が凝縮して、まさに収斂的に現れたのが、亡くなる前の墓地さがしです。書道部の武藤豊さんによると、高橋さんは今年 5 月から新しい墓地、まもなく自分が埋葬される墓を求めて所沢など周辺各市の寺院をいくつか廻ったとのこと。息子さんか娘さんの運転する車ではあっても、もう尽

きようとしている力をふり絞っての寺廻りでした。周囲は止めたでしょうが、どうしても自分で確かめておかないと気がすまない。結局、新座の慈眼寺の墓苑と決め、墓石をどうするか、墓をどの位置にするかも確認したようです。石材店の人が話していました。「7月の初め、ご本人がおいでになってお決めになりました」。それから、わずかひと月後、高橋さんは息をひきとり、その49日後、ひと壺の形になってそこに納まったのです。墓地さがしと同時併行して、墓石に刻む「天」「舞」のふた文字の墨書にも筆を揮いました。自分の最期を組み立てた、平たくいえば死の設計を仕終えて旅立った。節度と几帳面の人の真骨頂を、ここにみることができるのです。

私が高橋さんに最後に会ったのは亡くなる3週間前でした。そのあと私に電話を寄越し、「もう輸血も点滴もムダだと思う。その分、他の人に回せるからね」と伝えてきました。その直後、自ら医師に申し出て輸血、点滴を中止したと奥さんが話しています。最期の日、終焉の時も、高橋さんは自分で決めたこととなります。

亡くなった翌日、川上昇一さん、武藤豊さんと3人で自宅に帰還したものいわぬ高橋さんに会いに出かけました。その亡骸は、これ以上は小さくなれない、と思えるほど薄く、細くなっていました。いかに最後の3週間の苦痛が過酷、凄絶であったか、高橋さんはその亡骸をもって雄弁に語ったのです。娘さんへの高橋さんの最後の言葉は、「オレ、強かったろう」だったといえます。

江戸っ子の、いや、もののふの魂をもって高橋さんは逝った、私はそう思っています。

東稲広報室

<会計処理規則の制定について>

前号の「東稲広報室」でお知らせしました通り、当会の「会計処理規則」が完成いたしました。別冊付録として規則条文を添付いたします。この規則策定に至る経緯と概要につき、策定の中心となって頂いた東海俊孝会計監事に説明していただきました。

1. 会計処理規則制定のニーズ

当会には会計処理の規定がないので、会計担当者が代わると業務引継ぎに際し、新任者は大変な苦勞をさせられます。また、会計監査では、監査の拠り処がないので、会計監事の常識と良識だけが監査基準となります。これらの不都合を解消する為に、本年10月の役員会にて会計規則を制定しました。会計規則の主な内容は以下の通りです。

2. 従来行われていた会計処理内容を明文化

(1) 本会計と特別会計

本会計は当会全体の収支を記帳し、特別会計は個別に収支管理する必要がある懇親会等のイベント別に記帳する。特別会計の収支尻を本会計に計上することにより、当会全体の中での収支として把握される。

(2) 勘定科目は従来使用している科目を明文化

(3) 預貯金、現金の取扱い業務の規則を明文化

(4) 収支の決裁、計上に関わる規則を明文化

(5) 収支に関わる証憑の取扱い規則を明文化

3. 従来支出基準が曖昧であった支出について支払に関わる規定を定めて明確化したもの

(1) 交通費の支給基準

当会の業務実施にかかった実費を支給

(2) 部会補助金の支給基準と支給後の管理

① 支給対象となる条件：前年度実績を基準

事業報告に部会報告が掲載されており、且つ部会活動参加者数の年度累計が10名以上

②補助金額：参加者数の年度累計が基準

- ・ 10 名～19 名： 5,000 円
- ・ 20 名以上： 10,000 円

③支給後の補助金の使用は部会の責任。本会計の責任は補助金の支給まで。

4. 新たに制定した規則

- (1) 予算の超過又は予算外の収入・支出及び予備費の充当について、会計担当者の決裁権限範囲は 10,000 円以内とする。
- (2) 稲門祭グッズ販売において、補助金獲得金額への不足額がある場合、当会会費収入から支出することを可とする。

5. 会計関係書類、帳票類、証憑の保存期限

6. 会計監事の業務遂行に関わる中立性・第三者性の確保

文責：会計監事 東海俊孝

<安部磯雄先生生誕 150 年記念式典のご案内>（校友会からの案内）

今年は早稲田大学野球部初代部長の安部磯雄先生生誕 150 年の節目の年、これを記念して講演会、早慶戦を開催する事となりました。ご参加、ご観戦頂きますようお願い申し上げます。

- 1、日時 平成 27 年 11 月 21 日（土）午前 10 時より
- 1、場所 講演 早稲田大学東伏見キャンパス 79 号館 205 教室（西武新宿線東伏見駅前 STEP 22）
全早慶戦 早稲田大学東伏見グラウンド（西武新宿線東伏見駅徒歩 10 分）
- 1、記念講演 「祖父 安部磯雄の思い出」 安部幾雄氏 10:05 ～ 10:35
「人格の尊重」－安部磯雄の教育観－ 矢口徹也教授 10:40 ～ 11:30
（講演会終了後グラウンドに移動）
- 1、「安部球場」命名式 川口野球部長 12:45 ～ 12:50
- 1、全早慶戦（現役選手と社会人現役選手）13:00 ～ 15:30

<稲門祭、福引当選者>

〔ふるさと賞〕伊東毅 656、〔職域賞〕棚野愛子 696、松田博雄 2196、〔校友賞〕池田信一 653、上田敦嗣 663、梶井琢太 673、久家政裕 683、高柳康夫 693、馬場清彦 2183、帆角信美 2193、村野建彦 2203
（敬称略）以上 11 名でした。 稲門祭実行委員；清水正弘、村野建彦

<「秋の旨いもの会」会計報告>

【収入】会費 ¥121,000、【支出】会場費 ¥21,950、飲料代（足立屋酒店）¥18,406、食品代 ¥80,114、雑費 10,317、【収支】▲¥9,787、

<米光慶二郎会員より、名作映画DVD100 本を寄贈いただきました>

映画鑑賞会の責任者を務めていただいている米光慶二郎さんから、当稲門会に貴重なコレクションである名作映画のDVDを 100 本、寄贈いただきました。ご厚意に感謝いたします。

当東久留米稲門会の大切な財産として、今後の映画鑑賞会に使用するとともに、会員の皆様への貸し出しの体制を整えたいと思っております。準備が整いましたら、改めてお知らせいたします。

<訃報>

宮本護会員（39 年商学部卒）が平成 26 年 5 月にご逝去されました旨、ご家族から連絡がありました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

徳島阿波踊り観覧記

山口謙二(49年政経)

今年8月11～13日徳島阿波踊りを観てきました。今夏行く事にした理由は二つです。一つは早稲田の同級生が徳島在住で「連」(踊りのチーム)の代表者である事。二つ目は亡くなった祖母(母方)が徳島出身で「地縁」の様なものを感じていた事。東稲ニュース83号で書きましたが、私は上京一旗願望者の子で、両親は共に北海道生まれ(私は昭和27年1月上川郡美深町生まれですが、一度も出生地の土を踏んだ事はありません。妹は28年8月東京五反田生まれ)。昭和54年に88歳で亡くなった祖母は徳島生まれで、私は、屯田兵⇒一旗組の子孫のような者でしょうか。日本も広いもので未踏の県が、秋田・和歌山・徳島・高知・長崎・宮崎で、未踏地を制覇せねばと考えていました。同級生は徳島の木工機械販売業の跡取り息子で自称＝踊る機械屋。

長い前置きでしたが、今回の2泊3日(と言っても最終日は帰京だけで、実質1泊2日で3回観覧の駆け足ツアー)の様子をお伝えします。8月11日午前11時羽田発⇒12:15その名も「徳島阿波おどり空港」着。空港バス25分程で市内へ。11日15時から四国一と言われる多目的ホール「アスティとくしま」で前夜祭。5000名収容ですが満員札止め。有名連と位置付けられる由緒・伝統ある33連が一同に会し、一連ずつ演舞。徳島と姉妹都市の仙台から「すずめ踊り」も客演。あっと言う間の90分でしたが、これで今年の踊りにスイッチオン。同級生率いる連は「うきよ連」という1948年結成の伝統連。この晩は同級生の高校時代の友人が経営する街一番の寿司店「栄寿司」(創業110年の由)で美味しい魚と地酒「鳴門鯛」を堪能。余談ながら、寿司店オーナーは慶応OB。

翌12日から四日間が「本番」。公演が午後からなので、未踏の地徳島市内をブラブラしました。城址はありますがお城そのものは無く、戦争中爆撃の標的になる事を避ける為取り壊したとはタクシーの運転手さんの説明。「香川、愛媛、高知にはお城があるのに、徳島だけないので観光客を集める上で不利だ」と不満そうでした。デパートを覗くと店内のBGMは軽快な阿波踊りの二拍子で、浴衣姿の店員さんもチラホラ。ところで、連のメンバーになるのは簡単ではないようで、身上調査・面接を経ると、これまで運転手さんのお話。有名連は平日頃から練習に勤しんでいるようで、決してこの時期だけ演舞するというようなものではないそうです。12日13:30から「あわぎんホール」で有名連六連出演の舞台踊りを鑑賞。前列から8列目という間近の席で、90分間その迫力に圧倒されっぱなしでした。掛け声は「やっとさー、やっとやっと」と「一かけ、二かけ、三かけて、しかけた踊りは止められぬ。五かけ、六かけ、七かけて、やっぱり踊りは止められぬ。」というもので、女性のやや甲高い声がとてもよくマッチします。12日午後6時からいよいよ栈敷踊り。有料演舞場は市内四か所で、私は友人の連が出る「藍場浜」会場で午後8時まで観覧。今回は前列から3列目で本当に間近でした。これがニュースなどで紹介されるもっともポピュラーなものです。有名連だけでなく企業・団体等の連も繰り出し、約130mの直線路を踊り抜きます。両側が観覧席で5000名収容出来るも満席。ツアーも多数組まれています。この時期ホテル確保が事他難しく、私は友人に観覧チケット、ホテル予約など「おんぶにだっこ」で助かりました。個人アレンジなら先ず宿の確保が第一。チケットはネットで購入可能。家内も「感動」の大安売りを嫌うタイプですが、流石に今回ばかりは「感動した」と。リオのカーニバルを見た事とてありませんが、それに匹敵すると言っても過言ではないと思います。素晴らしい体験が出来ました。

<編集後記>

11月8日は立冬。冬といっても暦のうえだけで、季節は錦秋真っ盛り。各地から紅葉の便りが毎日のように報ぜられています。さて、ホームページのリニューアルが完了し、オープンしました。松崎さん、村上さんはじめ関係者の皆様、ご尽力ありがとうございました。
